

第68回 東北民教研

『花巻集會』のご案内

主催 東北地区民間教育研究団体連絡協議会

東北民教研テーマ 「北方性教育の遺産を継承し、国民教育の創造をめざそう」 一やさしい言葉で深い思想を、地域の現実のより深い把握を

花巻集會テーマ 「子どもたちの幸せと教職員の喜びを育む教育の実践と運動を創りだそう」

□ 日時 2019年8月9日(金)・10日(土)・11日(日)

□ 会場 花巻温泉「千秋閣」 住所：花巻市湯本1-125 電話：0198-37-2111 FAX：0198-27-2300
花巻市立「湯本小学校」 住所：花巻市大畑3-331-1 電話：0198-27-2525 FAX：0198-27-2525

□ 日程 9:00 12:00 13:00 15:30 17:00 18:00 20:30

9日(金)	(集會準備作業)	受付	開會集會	分科会 I	移動	夕食・全体交流会	(運営委員会)
10日(土)	分科会 II	昼食	記念講演	分科会 III	移動	特別分科会	
11日(日)	分科会 IV				夕食		

17:00 19:00 21:00
※理科と教育・音楽と教育・生活科総合学習と教育の10日と11日の会場は「湯本小学校」です。

□ 参加費

教職員・退職教職員 3000円 (9日・11日のみの参加 1000円、10日のみの参加 2000円)
保育士 2000円 (10日のみの参加は1000円)
学生・父母一般 1000円 (10日のみの参加は500円)
※集會費は別紙にて1000円

□ 宿泊費等
9日の宿泊費 14000円 (交流会費2000円を含む)
10日の宿泊費 13000円
昼食(10日のみ) 700円(予定)
保育(個別財社) 無料

□ 記念講演 講師 福井 雅英さん(滋賀県立大学教授)
福井 雅英さん(滋賀県立大学教授)

※ 1948年滋賀県立生まれ。滋賀県内小・中学校教員31年。その後、武庫川女子大学助教授、北海道教育大学教授などを経て、現職。博士(学術)。専門は臨床教育学、教師教育、日本教育史。

上からの一方的な教育「改革」の嵐が押し寄せている学校現場のなかに、多くの困難さと苦しい思いをしながらも、教師として校づくりりに生かせるような講演を期待したいと思います。

□ 特別分科会

(1) 『東日本大震災の復興と原発問題の現在を考える』

◆ 「震災後8年 石巻地区の現状 ～ 子ども・学校・地域のことを考える」
報告者：山口 正 富 さん (宮城)
◆ 「原発被災地からの報告」 報告者：坂 井 聡 さん (福島)

(2) 『地域と学校のかかわりあいを考える』

◆ 「学校統廃合と小・中一貫校問題」
報告者：菅 野 宗 二 さん (岩手)
◆ 「文科省主導のコミュニティ・スクールの現状」 報告者：遠 藤 慎 一 さん (福島)

(3) 『子どもはじめ問題から学校を考える』

◆ 「中2いじめ自殺事件の「報告書」から学ぶ」
報告者：一 戸 義 規 さん (青森)

(4) 『「子どものため」という名の「子ども不在」の姿を考える』

◆ 「共通理解という名のスタンダードで教師が手放すもの」
報告者：五十嵐 晋 さん (山形)

◆ 「学力テストに翻弄される現場～求められる「学力」の重圧と矛盾」
報告者：小 南 哲 さん (秋田)

(5) 『治安維持法下、不屈に生きた教師「織田秀雄」を語る～共謀罪時代への遺言～』

報告者：宍 戸 春 雄 さん (岩手)
話題提供：宍 戸 春 雄 さん (岩手)

きりとりせん

＜参加申し込み・問い合わせ＞ 申込最終日 7月25日(木) ※必要事項を記入の上、FAXまたはEメールでお申し込み下さい。参加・宿泊申し込みと問い合わせは、青森県民教協事務局 高坂まで (携帯 090-9638-4042 TEL・FAX 017-726-6037 Eメール takaryu2641@ybb.ne.jp)

③～⑤の欄には希望の場合はO、希望しない場合はXを必ず記入

①氏名	②連絡先(自宅・携帯番号)	③宿泊の有無	④10日 昼食	⑤保育希望	参加希望 分科会	参加希望 特別分科会	希望しない場合はXを必ず記入 同室の希望、保育希望日時・時間帯 記入例：10日午前・午後等を記入
		9日					

<p>◆ 国語と教育 ◆ 『子どもたちを日本語のすぐれた担い手に』 〈実践発表〉 ・小三「のらねこ」の実践 佐賀井 伸 (山形) ・文学作品のよみ方、説明文のよみ方ほか各県から発表予定 〈全体討論〉 ・「日本語の文法」の学習と「文法作品・説明文のよみ方(仮)作文と教育」 ◆ 『子どもの内面に寄り添い、生活を見つめ、事実をありのままに綴ることとおして、人間らしい感性や生き方を育てる生活綴り方の実践はどうあればよいか』 〈実践発表〉 ・「かくこと、読みあうことで生活を見つめることができ子どもにも～(小学5年生の実践)」 佐藤 秀 寿 (宮城) ・「中学一年生の主張」 近野 亨 子 (山形) ・「小学校からの実践報告」 (青森) ・「働きにくさのなかで実践を共有する難しさ」 (岩手)</p>	<p>◆ 外国語と教育 ◆ 『自立して学習できる子どもに育てる』 〈講 座〉 ・「文学作品の読みとり」 キャサリン・マンスフィールドの作品“AT THE BAY”から 〈実践報告〉 ・「#2: 絆“HARRY the Dirty Dog”no読みとり」 中島誠太郎(福島) ・「Little Dorrit」 by Dickens の読みとり」 昆野 明彦(岩手) ・「コミュニケーション活動につなぐ文法の指導～文脈の視点から～能動と受動の受け身」 桑原 孝 (宮城)</p>	<p>◆ 社会科と教育 ◆ 『震災8年目に地域から考える』 〈講 座〉 「秋田歴教協の実践家であった渡部豊彦さんの実践を学ぶ」 〈実践報告〉 ・(各県からの実践報告を予定しています)</p>	<p>◆ 算数・数学と教育 ◆ 『これからの授業を考える』 〈実践報告〉 ・「正負の数」(中学校) 千葉 晃 弘 (岩手) ・「数Iの授業について語りあおう」 大内 国 芳 (岩手) ・(山形から小学校の実践レポートもだされる予定です)</p>	<p>◆ 理科と教育 ◆ 『実験や観察を中心に、子どもも教師もワクワクする授業を!』 〈実践報告〉 ・「食べ物とイオン～身近なイオンから見えてくる世界」 菅 原 正 志 (岩手)</p>	<p>◆ 音楽と教育 ◆ 『いまこそ音楽を生きる力そして喜びに』 〈講 座〉 ・「分子模型づくり」(2～3時間) ・「授業プラン・ロケットで遊ぼう」(40～60分)</p>	<p>◆ 音楽と教育 ◆ 『いまこそ音楽を生きる力そして喜びに』 〈講 座〉 ・「たくさん歌い踊り、子どもが喜び歌やリズムを覚えよう」 ・「みんなで作ろう“オキクルミと悪魔”の世界」 ・「保育・授業の実践を交流し学ぼう」 〈実践報告〉 ・「小学校中高学年・支援学級での歌やリズム表現」 阿部みどり さん (岩手) ・「あしぐら保育園の子どもたちとの日々」 日食 正昭 さん (宮城) ・「たつこの保育園の3歳の子どもたちと」 高橋 峰 さん (山形)</p>	<p>◆ 美術と教育 ◆ 『どの子どもにも表現する力と生きる喜びを～生活・体験とむきあうこと、よく見つけ発見すること』 〈基調報告〉 ・「岩手絵の会できらびきた生活画の実践」 岩間政信(岩手) ・「民教協スペシャル・想画と綴り方を観て」 種倉紀昭(岩手) 〈特別講座〉 ・「少年・少女たちから生まれる表現～矯正教育機関での実践から」 講師：関 令子 さん (宮城) 〈レポート(作品紹介)〉 ・「点描画の実践(中2)」 小野寺 修子(宮城) ・「心を形に～鬼瓦をつくる(中2)」 阿 部 隆 一(岩手) ・「[牲]の醜態～うんどう会の絵など」 太 野 尚 子(岩手)</p>
---	---	---	--	---	--	---	---

<p>◆ 身体と教育 ◆ 『子ども・青年のからだと心の現状を探り、身体と運動文化の主人公に育てる実践の想像』 〈実践報告〉 ・「小学生ととりくんだ健康学習」 佐々木ひとみ (岩手) ・「チームを育てよう～バスケットボールの実践」 江 島 隆 二 (宮城) ・「からだのアナさがし(MI)・“うんち”ってな～んだ(中3)」 鎌 田 克 信 (宮城)</p>	<p>◆ 生活指導と教育 ◆ 『3.11以降、東北の子どもたちの生活台に何がお子って入るのか』 『競争・管理の学校で私たちに求められる実践とはなにか』 ・学習講座：「東北の生活指導実践をふりかえって」 ・実践分析：小・中あわせ4本予定 ・協議意見交流：「東北の子どもたちと生活指導運動の役割」 ◆ ◆ 高校生と教育 ◆ 『学校づくりの困難さと向き合い、主権者としての高校生を展望する』 〈実践報告〉 ・「自己と他者と出会う教室づくり～「空気に」に抗い! 外につなわれ!」 中 順 子 (岩手:花巻東高校)</p>	<p>◆ 障がいのある子どもと教育 ◆ 『障がいのある子どもに生きる力と豊かな発達保障を求めて』 〈実践報告〉 ・特別支援学級、支援学校の実践 (岩手、各県) ・地域支援の実践 (岩手、各県) 〈ミニ講座〉 講 師： 小 林 昇 さん (全障研岩手支部支部長)</p>	<p>◆ 演劇と教育 ◆ 『子どものころと身体を育む表現活動・文化活動とは』 〈レポート(映像あり!)〉 ・学習発表会、文化祭など行事をどうつくりあげるか (小・中) ・子どものころからだほぐしのレッスン ・地域のなかの文化活動のとりくみ ・お役立ち演劇講座・・・学校演劇を中心にとくさんの台本が ◆ ◆ 学校と教育 ◆ 『子どもの夢と希望を育む学校づくりを父母と地域とともに』 ・学校の現状について(フリートーク) ・「浪岡中第三者委員会の報告の意味～いじめ問題で大人の対話をどう広げるか」 一 戸 義 規 (青森) ・「子どもから学ぶ～小学校での実践報告と新米保育士の雑感」 齋 藤 敬 一 (宮城) ・「とも先生」から「はと組のともさん」になって思うこと 橋 本 と も (宮城)</p>	<p>◆ 国民教育運動 ◆ 『3.11大震災・福島原発事故から9年、被災者の生活、地域の子育て、教育・文化協同のとりくみを語る』 〈レポート〉 ①「女川原発再稼働をの是非を決める県民投票条例を求める直接請求運動について」 (宮城:賀屋) ②「青森県陸上町町会議員になって」 (青森:黄谷) ③「地域9条の会の運動をとおして」 (宮城:賀屋) ◆ 不登校・ひきこもりと教育 ◆ 『不登校・ひきこもりの急増～その社会的背景～』 〈レポート・話題提供〉 ・「ポランの広場」活動報告と若者の現状 須田 美喜子(岩手) ・「子ども・若者の生きづらさをめぐる問題」 中村信之(岩手) ・「わが子の現状について」 花巻父母会(岩手) ・不登校・ひきこもりの各県の様子 各県参加者 ◆ ◆ 生活科・総合学習と教育 ◆ 『地域に根ざし、子どもの発達を保障する生活科・総合学習の創造的実践』 〈実技講座〉 ①「朝の散歩&草花遊び」 ②「育てたミニトマト・大豆でクッキング!」 〈レポート報告〉 ①「シナイモツゴと稲」 小野寺 勝徳(宮城) ②「原発事故に向きあう美術教育をとおしての表現活動」 深 谷 拓 男(福島) ③「高松ハカセになろう」 山 本 公 恵(岩手) ④「高校生集会」 藤 澤 義 栄(岩手)</p>
---	--	--	---	--

※「技術と教育」分科会、「幼年と教育」分科会は休会します。